

『お勧め建材ガイド』『お勧め設備ガイド』 第15回 Webセミナーのご案内

一般社団法人 環境共生住宅推進協議会

一般社団法人環境共生住宅推進協議会（以下「kkj」）は、環境共生的な視点から住宅を構成する建材や設備の環境性能について独自の推奨基準を定め、これに適合する建材や設備を「環境共生住宅推奨部品」として推奨し、環境共生住宅の普及推進を進めてまいりました。

平成28年より、外皮の断熱等性能に関する「平成28年省エネルギー基準（等級4）」、「ZEH基準（等級5）」を満たすことができる環境共生住宅推奨部品の組合せを紹介する冊子『お勧め建材ガイド』シリーズを各省エネ地域区分ごとに発行してまいりましたが、本年4月、同シリーズを刷新した「脱炭素社会を目指す住まいづくりのための『お勧め建材ガイド』＜外皮6地域編＞」を発行しました。

同時に、新たに「脱炭素社会を目指す住まいづくりのための『お勧め設備ガイド』シリーズ」をスタートさせ、その第一弾として＜一次エネルギー消費量6地域編＞を発行しました。

この度、『お勧め建材ガイド』＜外皮6地域編＞及び『お勧め設備ガイド』＜一次エネルギー消費量6地域編＞を中心に、住宅の省エネ基準への適合、ZEHの標準化、さらにはより省エネ性能の住宅の普及等、昨今の動向も踏まえた第15回Webセミナーを下記のとおり開催いたします。

住宅の省エネルギー性能を高める一助となるよう、是非、ご参加ください。（※）

（※ご参加にあたりましては、3枚目の【参加申込み方法】をご参照ください。）

○住宅の省エネ基準への適合義務化や断熱等性能等級・等級5の創設、近い将来のZEHの標準化を見据え、H28年省エネ基準、ZEH基準等の断熱等性能を満たす断熱材・開口部等の組合せ、一次エネルギー消費性能を満たす設備機器の組合せをご紹介します。

○6地域における充填断熱工法、外張断熱工法および付加断熱工法、代表的に用いられる省エネ性能の高い設備機器を組合せた一次エネルギー消費量の目安について、具体的な環境共生住宅推奨部品をご紹介します。

【開催概要】

開催日：令和4年8月10日（水）13：30～15：00「Zoom」を用いたセミナー  
（事前に「Zoom」のインストールをお願いいたします。）

プログラム：①住宅の環境性能に関する背景

②外皮性能とお勧め建材ガイドの使い方

③一次エネルギー消費量性能とお勧め設備ガイドの使い方

④地域の気候特性を踏まえた環境共生住宅

（※プログラムは変更する場合があります。）

※ご質問のある方は、セミナー中のチャットまたは参加申込のE-mailアドレスにお送りください。

講師：三井所 清史 環境共生住宅推進協議会技術顧問（株式会社岩村アトリエ 取締役）

対象者：主に省エネ地域区分6地域で住宅の設計、施工をされている工務店・設計事務所の方

（省エネ地域区分6地域以外で、設計、施工をされている方も参加可能です。）

定員：30名（先着順。※参加費お振込み期限にご注意ください。）

## ■ 『お勧め建材ガイド』 <外皮6地域編>

1. はじめに
  2. 外皮性能の基準
    - 1) 断熱性能
    - 2) 日射遮蔽性能
  3. 建材選択のポイント
    - 1) 断熱材を選ぶ
    - 2) 窓を選ぶ
    - 3) 玄関を選ぶ
  4. お勧めする建材の組合せ
    - 1) ご紹介する3つの外皮性能レベル
    - 2) 記載事項
    - 3) 組合せ例  
 充填断熱工法・付加断熱工法レベル1～3  
 外張断熱工法・付加断熱工法レベル1～3
    - 4) 環境共生住宅推奨部品
  5. 省エネルギー基準
  6. 算定条件
- kkj の出版物のご紹介

レベル3 開口部強化型  
充填断熱工法

更なる強化外皮基準レベル  
編成：在来木造 対象地域：6地域

■ 性能

外皮平均熱貫流率 $U_A = 0.50$ (W/m <sup>2</sup> ・K)	冷暖房の平均 日射取得率 $\eta_{AC} = 1.9$	電照の平均 日射取得率 $\eta_{AH} = 2.7$
---	--------------------------------------	-------------------------------------

■ 仕様

天井 断熱材：高性能グラスウールGNHG20-34 t=310  
下地材：石膏ボード t=8.5  
○天井の断熱材の熱抵抗値 9.1 [m<sup>2</sup>・K/W]

外壁 断熱材：高性能グラスウールGNHG36-32 t=105  
○壁の断熱材の熱抵抗値 3.3 [m<sup>2</sup>・K/W]

玄関ドア 枠：金属製断熱構造または樹脂と金属の複合材料製  
扉：金属製断熱複層ガラス構造  
○玄関ドアの熱貫流率 1.90 [W/m<sup>2</sup>・K]

窓 サッシ：樹脂製複層ガラス  
ガラス：Low-E複層ガラス (t=14mm以上)  
※Low-E複層ガラスは、ガラスと樹脂の間に空気層を設け、ガラスと樹脂の間にLow-E膜を設けている。  
○窓の熱貫流率 1.90 [W/m<sup>2</sup>・K]  
○窓の日射取得率 0.46

床 断熱材：高性能グラスウールGNHG36-32 t=105  
土間立上：押出ポリスチレンフォームXPS38A t=30  
※土間立上は、浴室を除く。浴室は、浴室床下の断熱材を別途記載している。  
仕上材：床材 t=12の上  
水張りシート t=12または断熱材 t=55  
○床の断熱材の熱抵抗値 3.3 [m<sup>2</sup>・K/W]

注：断熱材が使用される箇所は、断熱材の厚さを示す。断熱材の厚さを断熱材の厚さシートに記載してください。(別途「断熱シート」を別冊でご紹介しております)

充填断熱工法 開口部強化型

厚さ	窓型
55+155	図例
105	図例
105	図例
12	図例
55	図例

熱取得率

窓型	熱取得率
図例	0.46 <sup>①</sup>
図例	0.46 <sup>②</sup>
図例	0.46 <sup>③</sup>
図例	0.46 <sup>④</sup>

※1 気密性能が  
※2 気密性能が低い場合は、気密性を高めるための断熱材の厚さを別途記載している。  
※3 気密性能が低い場合は、気密性を高めるための断熱材の厚さを別途記載している。  
※4 気密性能が低い場合は、気密性を高めるための断熱材の厚さを別途記載している。

窓型	断熱材	熱貫流率	熱取得率
図例	プロノーバ アノノーバ [K2仕様] (三層ガラス仕様)	1.90 <sup>①</sup>	0.065 <sup>①</sup>
図例	ジェスタ2 [K2仕様] (LIXIL)	1.90 <sup>②</sup>	0.065 <sup>②</sup>
図例	Inno Best D50 Inno Best D70 (DYK AP)	1.90 <sup>③</sup>	0.065 <sup>③</sup>

※1 気密性能が  
※2 気密性能が低い場合は、気密性を高めるための断熱材の厚さを別途記載している。  
※3 気密性能が低い場合は、気密性を高めるための断熱材の厚さを別途記載している。

## ■ 『お勧め設備ガイド』 <一次エネルギー消費量6地域編>

1. はじめに
  2. 住宅のエネルギー消費性能
    - 2-1 一次エネルギー消費量による評価
    - 2-2 一次エネルギー消費量の計算方法
    - 2-3 平成28年省エネルギー基準および  
ZEHにおけるエネルギー消費性能の基準
  3. 設備機器選択のポイント
    - 3-1 暖冷房設備
    - 3-2 換気設備
    - 3-3 給湯設備
    - 3-4 照明設備
    - 3-5 コージェネレーション設備
    - 3-6 太陽光発電設備
    - 3-7 太陽熱利用給湯設備
  4. お勧めする設備機器の組合せ
    - 4-1 算定条件と掲載する設備機器
    - 4-2 記載事項
    - 4-3 全Caseに共通する設備
    - 4-4 電気とガスを併用する住宅
      - ① 外皮性能省エネ基準の場合 (5 Case)
      - ② 外皮性能 ZEH レベルの場合 (5 Case)
    - 4-5 オール電化住宅
      - ① 外皮性能省エネ基準の場合 (2 Case)
      - ② 外皮性能 ZEH レベルの場合 (2 Case)
    - 4-6 環境共生住宅推奨部品
  5. 参考情報
    - 5-1 地域の区分
    - 5-2 年間の日射地域区分
    - 5-3 算定に用いた建物のプラン
- kkj の出版物のご紹介

4-4 電気とガスを併用する住宅

CASE 2-4

性能

基準一次エネルギー消費量 (設計値)	80.6
設計一次エネルギー消費量 (設計値)	62.9
BEI	0.70 (412/59.0)
削減率	30% ZEH 相当

仕様

外皮性能  
 $U_A = 0.57$   
(W/m<sup>2</sup>・K)

冷暖房の平均  
日射取得率  
 $\eta_{AC} = 2.0$

電照の平均  
日射取得率  
 $\eta_{AH} = 2.0$

暖房設備：ルームエアコンディショナー  
(省エネ型)  
・エネルギー消費効率の区分または省エネ型  
・小電力高効率冷暖房プレッシャーを推奨しない

冷房設備：P19 変換  
照明設備：P19 変換

換気設備：ダクト式第一種換気設備 (熱交換型)  
・比消費電力 0.49 [W/m<sup>3</sup>h]  
・熱交換効率 95%  
・熱ロス削減率 95%  
・熱ロス削減率による省エネ効果の補正係数 0.9  
・熱ロス削減率に付する外皮性能の算定による省エネ効果の補正係数 0.9

給湯設備：電気ヒートポンプ・  
ガス瞬間式併用給湯温水暖房機  
・給湯機：電気ヒートポンプ  
・給湯部：HP・ガス併用  
・主な給湯機：逆転あり  
・給湯部：逆転あり

暖房設備：電気ヒートポンプ・  
ガス瞬間式併用給湯温水暖房機  
(主たる暖房)  
・給湯機：電気ヒートポンプ  
・給湯部：HP・ガス併用  
・主な給湯機：逆転あり  
・給湯部：逆転あり

図例

暖房	冷房	照明	換気	給湯	暖房
19.8	4.9	2.0	21.7	4.4	21.2
18.4	3.6	1.5	20.6	25.1	19.4

※1 暖房・冷房・照明・換気・給湯の各設備の省エネ効果は、省エネ型・省エネ基準・省エネ基準未満の3つの省エネ型を比較して算定した。省エネ型は、省エネ基準未満の省エネ型を比較して算定した。

暖房	冷房	照明	換気	給湯	暖房
図例	図例	図例	図例	図例	図例

○ kkj の出版物のご紹介

## 【参加申込み方法】

参加申込み：左記のメールアドレスからお申込みください。E-mail：webseminar@kkj.or.jp

メールの件名を「**第 15 回 8/10 (水) Web セミナー参加希望**」として、以下の【メール記載事項】を記載して、お送りください。

### 【メール記載事項】

- ・**会社名、所属、氏名、資料送付先住所、連絡先電話番号、E-mail、参加費振込予定日**
- ・複数人でお申込みの場合は、参加者全員の【メール記載事項】を記載してください。

※取得した個人情報は本セミナーの事務に必要な範囲及び当協議会からのご案内を送らせていただく場合以外には使用いたしません。

参加費：1,500 円/人（税込、資料代を含みます。）

※kkj の正会員・情報会員・地域会員は 1,000 円/人

- ・事前に参加申込みのメールをご送信の上、以下の金融機関の口座に参加費をお振込みください。資料送付の関係上、**8/3 (水)** までにお振込みをお願いします。
- ・お振込み確認後、Zoom 会議の ID とパスワードをメールにて、資料を郵送にてお送りいたします。資料郵送時に領収書を同封いたします。
- ・なお、8/3 (水) までにお振込みの確認ができない場合は、キャンセル扱いとなりますので、予めご了承ください。

【振込先】三井住友銀行 東京公務部（銀行コード：0009 店番号：096）

普通預金 164138 一般社団法人 環境共生住宅推進協議会 宛

- ・恐れ入りますが、振込手数料はご負担願います。
- ・お振込みの際は、「振込依頼人名」の前にセミナー番号「15」を必ずご入力ください。

（例：15 カンキョウハナコ）

## 【本件に関するお問合せ先】

一般社団法人 環境共生住宅推進協議会（kkj）事務局

Tel：03-6265-3242 Fax：03-6265-3243

E-mail：[webseminar@kkj.or.jp](mailto:webseminar@kkj.or.jp)

## 【ご参考】

- ・『お勧め建材ガイド』『お勧め設備ガイド』は以下の URL の購入申込書からもご購入できます。

[https://www.kkj.or.jp/contents/check\\_publication/books\\_kenzaiguide/](https://www.kkj.or.jp/contents/check_publication/books_kenzaiguide/)

- ・その他、環境共生住宅推進協議会（kkj）の出版物・ツールは以下の URL をご確認ください。

[https://www.kkj.or.jp/contents/booktool\\_index.html](https://www.kkj.or.jp/contents/booktool_index.html)